

石狩管内P T A連合会研究大会
の成功に向けて奮闘中

森

Mori Masato

政徒さん

当別町P T A連合会 会長



PTAを通して見えてきたもの

11 月12日に、石狩管内のP T A関係者約500名が集まる研究大会が6年ぶりに当別町で開催されます。会場は西当別コミュニティセンターと西当別小学校で、その準備に多忙の当別町P T A連合会の森政徒会長に伺いました。

昨年から西当別小学校のP T A会長、今年からは当別町P T A連合会の会長も務めることになりました。さらに今回の石狩管内P T A研究大会の開催地となる関係で、管内P T A副会長の役職も併せて担うことになり、学校や教育委員会の方との接する機会が増え、他のまちでの学校の様子もわかるようになってきました。今は研究大会と母親研修会の成功に向けて毎日のように打合せがあります。

教頭先生を中心に、研究大会の企画から案内状の発送まで、様々な助言や協力をいただき本当に頭が下がります。この大会では毎年、素晴らしい講師をお招きして子育てや社会問題など貴重なお話を聞いています。今回は娘さんを小児ガンで亡くされ、以後、献血推進運動に奔走されている方の体験談です。今から楽しみです。

塾や少年団に通ったり、親も共稼ぎなどで、子どもと一緒に時間が少なくなっているように思います。実は子ども達も親との対話やふれあいを求めているのでは、と感じます。休日や学校行事などでは親がもっと子ども達のことを見つめ、関わるべきでないでしょうか。役員をやってみて、熱心な先生方の考え

も見えてくると、私達も頑張らなくてはと思えてきます。子ども達のいる場所にこちらからもっと近づくと、子どもを通した親同士の横のつながりが深まり“P T A役員のなり手がいない”といったことも減ると思います。

都会に比べて、当別の子どもたちは教育環境にも恵まれているなど、これも役員になってから気付きました。自然が豊富ということだけでなく、例えば通学合宿や育成会事業、リーダー研修などの様々な事業を、多くの大人達が支えてくれるといった側面もあり、他のまちから羨ましがられているのです。だから、もっと当別の子ども達は大きく育てたい。

【10月7日取材】